

「海上コンテナ重量測定試験」に対する調整会議

平成 22 年 8 月 19 日 (木) 13:00～15:00

横浜第二合同庁舎 14 階 141 会議室

議事次第

1. 開会挨拶

2. 議題

(1) 重量計測定試験(案)について . . . 資料 1 (抜粋)

(2) 測定試験の周知について (案) . . . 資料 2

配付資料

「重量計測定試験実施要領」 . . . 資料 1

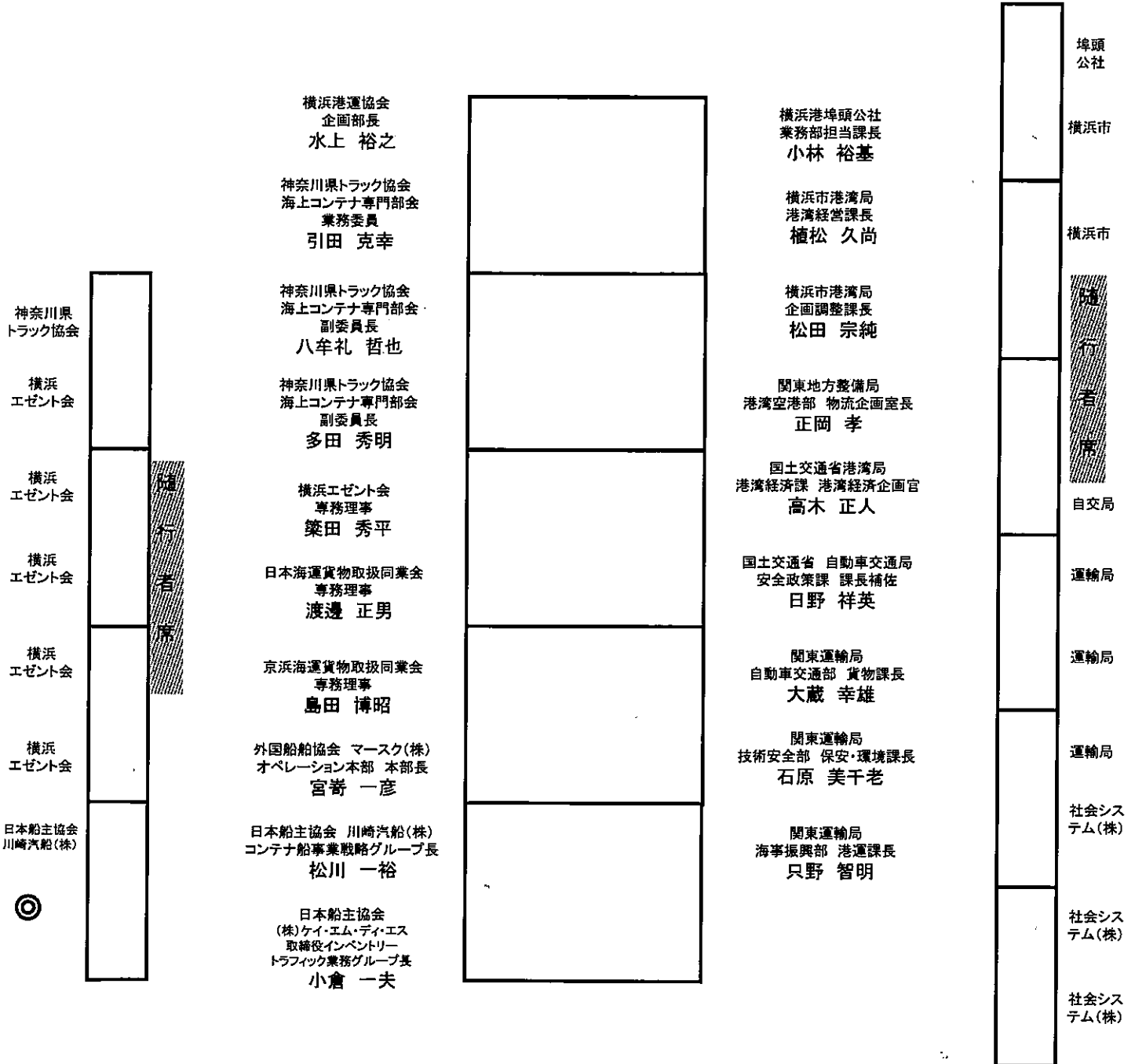
「重量計測定試験周知」 . . . 資料 2

「海上コンテナ重量測定試験」に対する調整会議 出席者リスト

所属	役職	出席者
横浜市港湾局	企画調整課長	松田 宗純
	港湾経営課長	植松 久尚
横浜港埠頭公社	業務部 担当課長	小林 裕基
横浜港運協会	企画部長	水上 裕之
神奈川県トラック協会 海上コンテナ専門部会	業務委員会 副委員長	八牟礼 哲也
	業務委員会 副委員長	多田 秀明
	業務委員会 業務委員	引田 克幸
横浜エゼント会	専務理事	梁田 秀平
日本海運貨物取扱同業会	専務理事	渡邊 正男
京浜海運貨物取扱同業会	専務理事	島田 博昭
外国船舶協会	マースク株式会社 オペレーション本部 本部長	宮崎 一彦
日本船主協会	川崎汽船株式会社 コンテナ船事業戦略グループ長	松川 一裕
	(株)ケイ・エム・ディ・エス 取締役インベントリー トラフィック業務グループ長	小倉 一夫
国土交通省 自動車交通局	安全政策課 課長補佐	日野 祥英
国土交通省 港湾局	港湾経済課 港湾経済企画官	高木 正人
国土交通省 運輸局	自動車交通部 貨物課長	大蔵 幸雄
	自動車技術安全部 保安・環境課長	石原 美千老
	海事振興部 港運課長	只野 智明
国土交通省 関東地方整備局 【司会】	港湾空港部 港湾物流企画室長	正岡 孝

# 海上コンテナ重量測定試験に対する調整会議 座席表

日 時:平成22年8月19日(木)  
13:00~15:00  
場 所:横浜第二合同庁舎  
14階 141会議室



— 出入口 —

# 海上コンテナの重量測定試験の 実施について

## 【目的】

国際海上コンテナの運送実態を把握し、「国際海陸一貫運送コンテナの自動車運送の安全確保に関する法律案」の円滑な運用を図るため、以下を目的とする試験を実施

- 輸入コンテナの重量計測により過積載等の発生頻度を把握
- 併せて、重量計測時に運転者へ重量情報が伝達されているか調査を実施し、伝達割合を把握  
(運転者への聞き取り、運行指示書・EIRの確認等)

## 輸入コンテナの重量測定試験の実施につきまして

本年3月5日、「国際海陸一貫運送コンテナの自動車運送の安全確保に関する法律案」が閣議決定されました。本法律案におきましては、受荷主が輸入コンテナに係る重量情報を取得出来なかった場合に、当該受荷主に対して輸入コンテナの重量測定義務を課すこととしております。

これを受けて、国土交通省港湾局、自動車交通局では、本法案の円滑な施行のために、横浜港●●埠頭において別添のとおり「輸入コンテナの重量測定試験」を実施させて頂くことと致しました。大変恐縮ではございますが、関係者の皆様におかれましては、何卒御協力をお願い致します。

本測定試験を横浜港で実施させて頂くのは、2つの理由があります。まず、トラック業界をはじめ同港の関係者の方々が、国際海上コンテナのトラック輸送の安全対策に熱心に取り組まれていること。また、同港が重量ベースで日本一の外貿コンテナ貨物取扱量を有しており、安全インフラの整備に向けた取組み強化を通じ、更なる貨物量増大に向けた環境整備が進むこととなるためです。

なお、本試験は、今後の全国的な安全インフラ整備のためのデータ収集を専らの目的としているものであり、原則对外公表は致しません。また、大きな混雑及び渋滞がなるべく発生しないような配慮させていただく所存です。

平成22年8月

国土交通省 港 湾 局  
自動車交通局

(別添)

## 輸入コンテナの重量測定試験

### 【試験内容】

- ① 輸入コンテナの重量を計測することにより、過積載等の発生頻度を把握
- ② 重量計測時にトラック運転者に対して重量情報が伝達されているかを調査し、その伝達割合を把握

### 【実施方法】

トラック事業者を4つのグループ分けして、グループ毎に実施期間を週毎に割当てます。期間中、実入りの輸入コンテナを扱う対象事業者のトラックに、重量計の計測場所に行って頂き、重量計測定試験に協力して頂きます。トラック運転者に対しては、運行指示書若しくはEIRをお示し頂き、重量情報がトラック運転者に到達しているか確認させて頂きます。

重量計については2台設置、渋滞の発生を回避し、待機レーンでの待機時間は極力短くなるよう留意させて頂きます(待機レーンが満杯の場合、試験は受けなくて結構です)。計測に要する時間は、トラック運転者へのヒアリングを含めて、全体で1、2分程度となる予定です。1日の試験目標数は約300台です。

### 【計測場所】

(P)(詳細は別添をご参照願います。)

### 【実施体制】

使用機材：トラックスケール2台

記録実施者：社会システム株式会社(記録員2名+代替要員1名)

※個別の計測結果は運転手に対してお伝えしません。シャーシとヘッドは、車両番号のみ控え、車両重量等は後程照合のため、その場ではコンテナ重量は判明しません。

※空コンテナは試験の対象外とします。

### 【実施時間及び期間】

実施期間 ●月某日～●月某日(1ヶ月間)※土日除く。

実施時間帯 8:30～16:30

問い合わせ先：

国土交通省港湾局港湾経済課 03-5253-8629

自動車交通局安全政策課 03-5253-8556